

本書の目的

本書は、これから音響技術を専門的に学ぼうとしている若い学生さんを主な対象としていますが、もちろん、音響技術や音楽音響に興味があるすべてのみなさんに利用していただけるものと考えています。そしてこの本は、音楽や音響についてある程度の基礎知識を持ったみなさんが、(あるいは、「とにかく好き」というだけでも十分ですが) 将来、プロフェッショナルなエンジニア、プロデューサー、プレーヤー、プランナー……になることを目指して、より専門的な次なるステップへ進むための橋渡しになれば、との想いから作ったものです。

そこで本書では、みなさんの壁になってしまうような難解な表現を極力避けながら、その理論、仕組み、成り立ちについて、最大限分かりやすく解説することを目標にしました。そのため、図、表、イラストによるデータを駆使して、音楽や音響の様々な事柄を項目ごとに挙げて、その一つ一つを読み切り方式で解説していく、という方法を採用しました。

項目は 001 から始まって 100 まで、全部で100項目あります。ある程度のストーリー性もありますので 001 から順に読んでいただくとより分かりやすいのですが、もちろん興味のある項目だけ、あるいは必要な項目だけを拾い読みしていただいても結構です。「010 はよく分からなかったけど 014 は分かった」ということでも、大丈夫です。それぞれの項目が微妙に関連していますので、他の項目を読んでいるうちに、分からなかった項目が分かるようになることもあると思います。また、調べたい事項があったり、興味のある項目があれば、気軽にその項目だけでも利用してください。

本書では既成のデータだけでなく、本書ならではのオリジナルデータを数多く掲載し、それらによって解説を進めています。

私(私たちのチーム)がこれまでの25年間に大学や専門学校で行ってきた様々な研究や音響実験(学生指導が主目的ではありますが)は、延べ5万回、時間にして12万時間を超えています。そこで得た貴重にして膨大な資料と、その経験値によってまとめ上げたこれらのデータは、本書を読まれるみなさんにとって、より深い理解への手助けになるのではないかと考えています。

本書がきっかけとなって音楽や音響の世界が広がっていき、それによって将来、みなさんの人生がより豊かで楽しいものとなっていただければ、これ以上嬉しいことはありません。